

令和4年度 中区アクションプランリスト (評価)

中区のめざす将来像
～みんなが安心を感じ、魅力をつなぎ、活力を生む～
成長の歩みを止めない中区

堺市中区では、中区地域計画(2021～2025年)を策定し、中区のめざす将来像を構成する要素として「子育て・福祉・安全・環境・歴史文化・健康・交流」の7つの分野を設定し、さらに中区地域計画を明確化するための事業計画を年度単位で策定しています。

このたび、令和4年度アクションプランリストの事業計画と指標について、その実績を振り返り、それぞれの事業ごとに評価を行いました。区役所では、この評価をもとに、次年度以降の事業内容を検討していきます。

目 次

	ページ
【将来像実現をけん引する先行的取組】	1
【 子 育 て 】○子育て世代を地域全体で支援する環境整備	2
○子どもの健やかな学び・育ちの確保	3
【 福 祉 】○高齢者・障害者福祉の充実	4
○セーフティネットの保証と自立支援	4
【 安 全 】○地域防災力の向上	5
○犯罪や事故のない暮らしの実現	6
【 環 境 】○緑にあふれる清潔な街並みの維持	7
○省エネルギー化・省資源化の推進による循環型地域社会の実現	7
【 歴 史 文 化 】○歴史的な魅力の再発見	8
○文化・芸術活動の振興	8
【 健 康 】○それぞれに合った健康増進習慣の確立	9
○健康を支える地域社会の構築	9
【 交 流 】○地域課題解決力の強化	10
○区民間交流の推進	11
中区地域計画に設定した分野別要素の施策と今年度事業の相関図	12

KPI(重要業績評価指標)…中区地域計画において、7つの分野別要素それぞれに対して市民意識調査等における中区在住者の回答(そう思う、ある程度そう思うと回答した人の割合など)の目標値を指標として設定し、中區に暮らす人たちの、意識の変化をもって各分野別要素の達成度を測ります。

【将来像実現をけん引する先行的取組】

深井駅周辺地域活性化事業



■ 泉北高速鉄道深井駅の乗降客数の伸び率の上昇

【現状値】
2015年度（25,190人/日）から2019年度（26,125人/日）の乗降客の伸び率 0.92%/年

【目標値】
2027年度から2030年度の乗降客の伸び率 **2割上昇** ↗

【事業概要】

深井駅周辺の地域活性化を図るため、水賀池公園の機能強化と、土地利用転換(民間活力の導入)による活用を行い、公園と商業・サービス・居住など多様な機能が一体となった中区のシンボルとなる施設を整備することで、多様な世代が集い交流する賑わいを創出し、周辺街区も含めて都市機能を誘導する。 ※2027年度供用開始予定

【令和4年度の取組み】

取組項目	内容	スケジュール	所管課	決算額(千円)
「深井駅周辺地域活性化事業 基本構想」の策定	<p>深井駅周辺地域の活性化に向け、関連施策についての庁内関係部局との協議や市民等への意見募集などを実施し、基本構想を策定した。</p> <p>【基本構想の基本的な考え方】</p> <p>①水賀池公園の機能強化と土地利用転換(民間活力導入)による利活用を、地域活性化の起爆剤とすることで深井駅周辺地域の魅力向上と地域拠点機能の強化を図る。</p> <p>②民間投資を誘導し新たな歳入創出により、収支の循環を確立し持続可能な施設運営に繋げる。</p>	4月～7月	深井駅周辺地域活性化推進室	—
「水賀池公園整備基本計画」の策定	<p>深井駅周辺における地域拠点機能の強化に向け、そのトリガーとなる水賀池公園整備内容(コンセプト、整備方針、施設配置計画、事業スキーム等)を検討し、庁内関係部局との協議や市民等への意見募集などを踏まえて、基本計画を策定した。</p>	4月～12月	深井駅周辺地域活性化推進室	—
事業者公募に向け関連業務の実施及び債務予算の確保並びに事業実施方針の公表	<p>○深井駅周辺地域活性化の拠点となる水賀池公園の民間活力導入による施設整備等に向け、各種調査委託関連業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者募集要項及び公募選定支援業務 ・水賀池公園整備検討業務 ・水賀池公園測量・地質調査業務 等 <p>○民間活力を導入した水賀池公園の活用についての整備方針、管理・運営手法、費用負担・リスク分担の考え方を示した「事業実施方針」を公表する。</p> <p>○次年度公募実施に向け、水賀池公園整備等にかかる本市負担金(工事費用、設計等)を債務予算を計上した。</p>	4月～3月	深井駅周辺地域活性化推進室	60,960
堺市都市計画審議会への報告・付議	<p>都市計画公園水賀池公園及び用途地域等の都市計画変更について、堺市都市計画審議会への報告・付議を行った。</p> <p>【都市計画変更内容】</p> <p>水賀池公園の機能強化と、民間活力の導入による土地利用転換により、公園と商業・サービス・居住など多様な機能が一体となった中区のシンボルとなる施設を整備することで、多様な世代が集い交流する賑わいを創出し、周辺街区を含めて都市機能を誘導するため、水賀池公園(都市計画公園)約6.3haの一部である、約2.3haを区域変更し民間活用を図るとともに、第一種中高層住居専用地域から近隣商業地域へ用途地域等の変更</p>	7月 11月 2月	深井駅周辺地域活性化推進室	—
地域等との意見交換・情報収集	<p>○堺市在住の市民を対象にしたwebアンケートを行った。(「令和3年度水賀池公園民間活力導入可能性調査等業務」で実施済)</p> <p>○基本構想及び基本計画の策定において、市民意見募集を行い、広く意見を募集した。</p> <p>○水賀池公園利用実態調査業務において、公園利用者のアンケート調査を行った。</p> <p>○深井駅周辺地域の活性化の推進について、校区代表者、中区選出議員、中区役所で構成する深井駅周辺地域活性化会議において、情報共有・意見交換を行った。</p>	4月～3月	深井駅周辺地域活性化推進室	—

【 子 育 て 】



○子育て世代を地域全体で支援する環境整備

核家族化や地域のつながりの希薄化が進む中、子育てへの不安や負担を保護者だけで抱え込むことがないように、地域全体で子育て世代を見守り、支援する環境整備を推進します。

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R4実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
1	子育て支援関係者交流会	子育て支援関係者会議運営委員会(子育て支援ネットワーク)構成機関による情報交換会を開催する。	中区内の子育て支援関係者が集い、情報交換、交流する会を年1回実施。	子育て支援関係者に対して交流会を行うことで、子育て支援のネットワークの強化になっているか。(アンケート実施)	子育て支援課	区内の子育て支援における情報交換会を行い、学びや理解を深めることで、子育て世帯を見守り支援する環境整備として、子育て支援ネットワークを強化する。	交流会 1回実施	アンケート結果 97.4%	A	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ここ3年書面開催が続いたが、今年度は、新たな取組としてハイブリッド形式(対面とオンラインを合わせた形態)を用い事業実施をおこない、ネットワークの強化につながった。参加者アンケートでは、今後の子育て支援の参考になったとの回答が39件中38件あり(1件未回答)、子育て支援のネットワーク強化になっている。
							[a]	[a]		
2	中区子育て支援啓発事業	乳幼児全戸訪問事業をはじめ、保健センターの乳幼児健診や子育て支援事業等で「子育てマップ」を配布し、中区内の子育て支援資源(サークル・サロン等)の情報提供を行う。	子育てマップを保健センターや子育てひろば等に2000部を作成し配布。	子育てひろば等で、子育て世帯に対して、マップを通じて子育て資源についての理解が深まったか。(アンケート実施)	子育て支援課	子育て世帯に区内の子育て情報をまとめたものを届けることで、子育てがしやすいまちであることを伝えていく。	保健センターや子育てひろばで2000部配布	アンケート結果 97%	A	アンケートにおいて、子育て資源について理解が深まった、概ね深まったとの回答が58件中56件(内2件未回答)あった。
							[a]	[a]		
3	孤立しない子育て支援事業中(なか)よし子育てプラン	子育て世帯の孤立化防止と地域における子どもの健やかな育ちを目的として、下記の事業を実施する。 ・保護者同士、保護者と行政のつながりの場の提供 ・保護者の子育てに関する悩みや早期発見及び相談支援 ・地域の子育て資源(子育てサークル・サロンなど)に対する支援 ・子育てに関する資源等の情報発信	交流会や講座を年10回以上実施。	保護者同士の交流や地域、子育て支援課等とつながり、孤立しない子育てができていくか。(アンケート実施)	子育て支援課	保護者同士、保護者と子育て支援課をはじめとする相談機関や地域とのつながりが構築できるようにするための場を提供する。	交流会・講座(オンライン含む) 16回実施	アンケート結果 89%	B	アンケート結果のうち、交流会については「また参加したい」が25件中24件あり、子育て支援課とつながることにより孤立化予防につながった。また、オンライン講座については、子どもの準備が不要で手軽に参加できるので、とても便利、移動時間や天候のことを気にせず気楽で良い等の回答が、9件中7件あり(2件未回答)、オンラインという新しい形態も概ね好評だった。
							[a]	[b]		
4	子育て家庭への相談支援事業	子育て支援課 家庭児童相談員、女性相談員、ひとり親相談員、保健師、保育士、子育て支援コーディネーターによる子育て相談や母子福祉等の相談を行う。また、ひとり親への貸付・就労支援等、各関係機関と連携し地域でのセーフティネットとしての役割を担う。 ・家庭児童相談…子育てのこと、心や体の心配、幼稚園や学校生活の悩みなど18歳未満の子と家庭の相談。虐待の相談や通告の窓口。 ・女性相談…離婚、配偶者からの暴力、生活などの相談等、さまざまな悩み・問題を抱えた女性からの相談。 ・ひとり親相談…離婚後の不安など母子家庭・父子家庭・寡婦の生活上の相談、自立のための相談や子どもの養育などの相談。 ・保健師…子育てや健康に関する相談。季節にあった子育て情報を提供。 ・保育士…子育てに関する相談。子育てサークル・サロンに関する情報を提供。 ・子育て支援コーディネーター…子育てに関するさまざまな相談について、各家庭に応じた子育て支援サービスを提案し、情報提供や専門相談員の案内。	保健福祉総合センター内はもとより関係機関や地域の支援者と密に連携し、子育て世帯の課題解決に努める。	—	子育て支援課	従前の家庭児童、女性、ひとり親相談機能の充実に努め、問題や課題に対しては速やかに関係機関と連携を図り適切な支援を行う。子育て相談をはじめ、子育て世帯のワンストップ相談窓口の役割を果たすことで、子育てへの不安や負担を保護者だけで抱え込むことがないよう努める。	家庭児童、女性、ひとり親相談機能の充実のため、関係機関※1と連携した数 672件 子育て相談をはじめ、子育ての不安や負担の軽減のために他機関※2に向き連携した数 247件 家庭児童、女性、ひとり親相談相談のべ合計 2208件	—	—	※1 主な連携機関先は、こども相談所、生活支援課、市民課、裁判所、社会福祉協議会、弁護士等。 ※2 みんなの子育てひろば、サークル・サロン、認定こども園等。 ※前年度比等による具体的な指標数値の設定を行っていなかったため、評価ができなかったもの。
							[-]	[-]		
5	区役所 子育てひろば	中区役所内に設置する「中区役所うきうきルーム」において、就学前児童とその保護者が気楽に集い、交流できる場を設け、子育てに関する相談や地域の子育て支援情報を提供することにより、子育て中の親の子育てへの不安感や負担感を軽減することを目的とする。	子育て講座を月1回実施。	子育て中の親が子育てへの不安感や負担感を軽減できているか。(アンケート実施)	子育て支援課	子育て中の親の子育てへの不安感や負担感を軽減する。	子育て講座 12回実施	アンケート結果 91%	A	子育て講座について、月1回(年間12回)事業実施した。子育て講座については、引き続き内容について子育て中の家庭等のニーズに応じた内容にしていきたい。区役所ひろばうきうきルームでの交流について、初めて利用した者のうち、「また利用したい」が169件中166件あり、利用継続することで負担感や不安感が軽減されていると考える。
							[a]	[a]		
-	現在からそして未来へ「いのちのありがとう」プロジェクト	(参照)【子育て】子どもの健やかな学び・育ちの確保	—	—	—	—	—	—	—	—
-	中区豊かなこころづくり応援事業	(参照)【子育て】子どもの健やかな学び・育ちの確保	—	—	—	—	—	—	—	—
-	防災に関する情報発信事業	(参照)【安全】地域防災力の向上	—	—	—	—	—	—	—	—

○子どもの健やかな学び・育ちの確保

すべての子どもが心身ともに健やかに成長することができ、豊かな人間性や社会性を身につけ、自ら考える力、主体的に行動する力を育むことができる学習環境を整備します。

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R4実績		総合評価	補足説明	
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】			
6	いき 現在からそして未来へ「いのちのありがとう」プロジェクト	中区地域計画の「すべての人が安心して楽しみながら子育てができる区」の実現をめざし、次のことに取り組む。 ・中区内の学校や地域と連携し、子どもや子育て中の保護者に「いのちのはじまりについて」「自分自身がかげがえのない存在であること」を伝えることで、中区で子育てをしている方やそれに関わる人達の自尊心を高める。 ・若年出産された保護者や多胎児を持つ保護者が、地域とつながりを持ち子育てに自信を持てるよう子育て支援を強化する。 ・将来親になる子どもたちや子育て中の保護者に、地域の子育てサークル、幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校など、中区内の関係機関と連携して、いのちの大切さを伝え、自尊心を高める取り組みを行う。	・関係機関へのいのちの教室の普及啓発を図る。 ・baby∞star 年4回の教室を実施。 ・ツインエンジェルズ 年4回教室を実施。	教室に参加することで子育てについて悩みが解消したか、精神的な安定が図れたか。(アンケート実施)	中保健センター	・いのちの教室 関係機関と連携し、子どもや保護者を対象に、いのちの大切さを伝える授業の実施を助めていく。 ・baby∞star 若年出産した母(主に21歳以下)を対象に、子育て支援をする。対象との信頼関係を構築し、子育てへの悩みの解消や、家族計画等の助言をしていく。 ・ツインエンジェルズ 多胎児を持つ親を対象に、子育ての悩みの解消や保護者の精神的な安定を図る。	【いのちの教室】 中区内の小・中学校全校が、性教育を含めたいのちの教室を実施できた。新型コロナウイルス感染拡大時期はオブザーバーとしての出務は控えた。 実施校 小学校13校	【いのちの教室】 アンケート実施せず	B	【いのちの教室】 小中学校へ出務し、自分の身体を大切にすること、相手のことも大切にすることを伝えた。悩んだ時や困ったときには、まちの保健室として保健センターへ相談するよう啓発した。 【baby∞star】 アンケートによる健康教育内容が理解できたとの回答が100% 【ツインエンジェルズ】 子育ての悩みが解消したか。 100% 精神的な安定が図れたか。 100%	
7	区民の主体的な健康づくり推進事業	中区地域計画における「子どもの健やかな学び・育ちの確保」と「それぞれに合った健康習慣の確立」をめざし、次のことに取り組む。 ・子どもに対して好ましい生活習慣を啓発することで、子ども自身の健康意識を高めるとともに、保護者への波及効果もねらう。	小学3～4年生を対象とした「からだの探検隊」を1回実施。	参加者が身体のしくみを理解できたか。(アンケート実施)	中保健センター	・からだの探検隊の実施 「生活リズム」をテーマに、睡眠リズム、食生活、歯と口の健康について総合的に学ぶことで、自らの生活習慣を見直し、生活習慣病にかかりにくい体をつくる習慣を身に付ける教室を開催する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団での教室開催はできなかったが、リモートで実施することができた。 申し込み 37家庭42人。	参加者が身体のしくみを理解できたとの回答。100% (アンケート実施)	A	申込、アンケート回答について電子申請で実施。動画は3分野構成。再生回数から複数回視聴して取り組んでいると推察。(動画再生回数:生活リズム67回、朝ごはん75回、歯みがき62回) 家庭での動画視聴ができない児童に向けて、保健センターでの視聴日も設けたが希望者はなし。アンケート結果で、参加者が身体のしくみを理解できたとの回答が11人中11人。	
8	中区豊かなこころづくり応援事業	4カ月児健診時に、絵本一冊と子育ての参考となる資料をセットにしたブックスタートバックを配布する。ボランティアによる読み聞かせ体験に対する乳児の反応を見ながら、保護者に「読み聞かせ方法」を学んでもらう。また今後、保護者が乳児のために絵本を選ぶ参考となるよう、図書館員がオススメする絵本の展示コーナーも設ける。	絵本の配布率100%	読み聞かせの機会が増加したか。(アンケートを実施)	自治推進課	絵本は定期的に見直し、継続して配布を行う。また、乳児に絵本を読む習慣をつけてもらえるよう、保護者に対し、ボランティアによる「読み聞かせ方法」を学ぶ機会を与える。	絵本の配布 24回実施 絵本の配布率 100%	アンケート結果 90%	A	アンケート結果、読み聞かせの機会が増加した割合(111人/123人)	
9	二十歳の集いの運営	二十歳を迎える若者の前途を地域全体で祝うために、式典参加者対象者を含む若者達が実行委員に加わり、アトラクションやコンサートなどの企画、準備から式典の運営を行う。	参加率 70%(式典参加数 / 対象者の割合)	成人としての自覚が向上したか。(アンケート実施)	自治推進課	成人としての自覚がより高まるよう、プログラムの内容を充実させる。	令和5年1月9日(月・祝) 参加率 74.3%	アンケート結果 61%	C	アウトプット指数の結果については、令和2年度に引き続き目標値を超える結果となった。一方で、アウトカム指数の結果については、令和2年度の7/18人を大きく上回る結果となったが、コロナ禍による式典内容縮小の影響もあってか、十分な結果には結びついていない。今後は若者の心に響く実施内容について検討を行っていく。 アンケート結果、成人としての自覚が向上した割合(47人/77人)	
-	孤立しない子育て支援事業中(なか)よし子育てプラン	(参照)【子育て】子育て世代を地域全体で支援する環境整備	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	子育て家庭への相談支援事業	(参照)【子育て】子育て世代を地域全体で支援する環境整備	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	区役所 子育てひろば	(参照)【子育て】子育て世代を地域全体で支援する環境整備	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	食育推進事業	(参照)【健康】それぞれに合った健康増進習慣の確立	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	乳幼児のむし歯ゼロ作戦	(参照)【健康】それぞれに合った健康増進習慣の確立	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【 福 祉 】

○高齢者・障害者福祉の充実

高齢者や障害者に対する理解を深め、地域全体で見守る機運を醸成し、介護や認知症予防に向けた取組を充実させることで、高齢の人や障害のある人がいつまでも健やかに暮らしていけるような仕組みを構築します。



KPI (指標) ■ 日頃から診療や相談ができるかかりつけの医師はいますか。(堺市高齢者等実態調査) 85.6% (R1) **90.6%** (R7)

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R4実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
10	区高齢者支援ネットワーク会議	高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活ができるよう、地域や関係機関が連携して効果的な支援を行うためのネットワークを構築する。	年1回開催	高齢者の見守りの充実を図るため、見守りネットワーク登録事業所を増やす。	地域福祉課	認知症高齢者や徘徊等により行方不明になった高齢者の早期発見及び高齢者虐待の早期発見・早期対応を図る。	会議開催回数 1回(コロナ感染拡大防止のため書面会議)	中区内事業所数 15カ所増	A	令和4年3月末現在のネットワーク登録事業所数 堺市全体2,340カ所、中区内296カ所 令和5年2月末現在のネットワーク登録事業所数 堺市全体2,395カ所、中区内311カ所
							[a]	[a]		
11	区障害者自立支援協議会	障害のある方が地域のなかで自分らしく暮らせるよう、障害福祉の関係機関が幅広く参加し、地域での相談に関するネットワークを構築することを目的に、よりよい支援ができることをめざす。	年10回の会議及び毎月の交流会開催	障害福祉に関わる支援者の課題解決能力が強化したか。(アンケート実施)	地域福祉課	作業所交流会や指定相談事業所交流会など、地域の障害福祉に関するネットワークの中核的な役割を果たす。	会議開催回数 9回 交流会開催回数 12回	アンケート結果 100%	A	アンケートは5件回収。BCP(自然災害発生時の業務継続計画)の作成についての取組みは、5件すべてから「わかりやすく理解でき、能力強化につながった。」との回答を得られた。
							[b]	[a]		
12	障害者作業所交流会	中区にある障害者作業所でネットワークを形成し、障害のある方への理解と地域啓発を目的に作業所交流イベント(ナカ・ナカマネットワーク)を開催する。また、当事者交流会等の取組みも展開する。	年6回の会議及び年3回のイベント開催	地域住民と交流することで、障害者への理解を促進するための参加作業所が増加したか。	地域福祉課	障害者の理解と地域交流、障害者作業所による活動紹介としてパネル展示及び自主製品の販売を行う。	会議開催回数 6回 イベント回数 4回	交流会参加事業所 10カ所増	A	参加作業所数 令和3年度45カ所、令和4年度55カ所。
							[a]	[a]		
13	高齢者支援事業	自分らしく生き、自分のエンディングを自分でデザインしたいという思いを持った高齢者が増えてきている。安心して日常生活を送り、もしもの時の備えともなるエンディングノートの普及や相談機関の情報を提供することで、地域でいきいきと暮らしていけるよう支援する。	エンディングノートの配布	高齢者がこれからの人生を安心して暮らせると感じたか。(アンケート実施)	地域福祉課	もしもの時に備え、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう啓発を行う。	配布数 82冊	アンケート結果 100%	A	アンケートは32件回収。そのうち、「自分の万一の時に役立てたい」「家族が困らないようにしたい」「忘れないように書いておきたいことがある」という理由で求められた方が31件あった。ノートを手にしたことで「よかった」「安心できそう」との回答は全員から得られた。
							[a]	[a]		

○セーフティネットの保証と自立支援

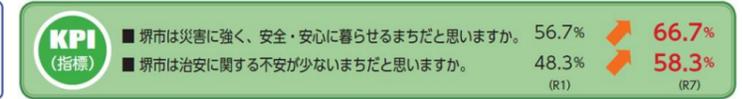
生活保護制度などにより、生活困窮者に対するセーフティネットを確保しながら、就労支援等によって自立の実現を図ります。また、様々な依存症の影響で健全な社会生活を阻害されている人たちの回復を支援します。

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R4実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
14	生活困窮者に対する相談・支援(法定受託事務)	生活困窮者の相談を受け、必要に応じて生活保護の適用を開始する。生活保護開始後は、健康管理・就労支援などの支援を導入する。	相談受付・支援の開始	生活保護の適用廃止	生活支援課	医療の受給が必要な者に生活保護法の適用となっている医療機関を案内し、必要に応じて継続した受診状態を確認する。	面接相談件数 844件 開始件数 303件 廃止件数 251件 入院患者数 152人 外来患者数 2,774人 (令和4年12月末時点)	—	—	中区で生活保護を受給しているすべての方には、権利として必要な医療が受けられる旨を丁寧に説明しており、医療を必要とするすべての方に必要な支援が行き届いている状態である。ただし、受給者の中には医療を必要としない人も含まれているため、外来患者数は生活保護を受給している人の数(3,481人)の79.6%である2,774人となっている。 ※前年度比等による具体的な指標数値の設定を行っていなかったため、評価ができなかったもの。
							[—]	[—]		
15	障害福祉サービス支給決定(法定受託事務)	就労移行支援・就労継続支援の支給決定	—	—	中保健センター	—	—	—	—	—
							[—]	[—]		
16	精神保健福祉相談	精神保健福祉士による、 ・精神疾患、メンタルヘルスの問題を抱えた方への医療相談や障害者就労、福祉的就労の相談支援、関係機関との連携 ・薬物・アルコール・ギャンブル等の様々な依存症について困っている、本人又は家族からの相談と周辺問題についての専門相談窓口の紹介	開庁時に随時、本人又は家族、庁内外の関係機関からの相談受付	様々な精神疾患や依存症についての普及啓発・理解促進を促し、心身ともに健康で自立した生活を営むことができる。	中保健センター	医療、障害福祉、介護、住まい、社会参加、地域の助け合い、普及啓発等が包括的に確保された地域包括ケアシステムを構築するため、保健、医療、福祉関係者間の顔の見える関係を構築し、情報やノウハウの共有、地域の課題を抽出し解決のための取組を推進する。	相談者延数 2,624件 依存症相談数 318件 障害者自立支援協議会 20回 ケースカンファレンス 35件 令和5年2月22日現在	—	—	新型コロナウイルス感染症の蔓延や活動自粛等の対策の影響を受け、様々なメンタルヘルス上の問題が生じている。令和3年度と比較して、精神疾患・メンタルヘルスの相談は減少しているが、依存症の相談は減少していない。この状況の中、電話・面接・訪問等ですべての相談に対応した。 また関係者間の会議等も対面を基本としながら、リモートを活用し、情報共有することで相談者に対し心身ともに健康な生活ができるよう支援を行った。 ※前年度比等による具体的な指標数値の設定を行っていなかったため、評価ができなかったもの。
							[—]	[—]		
-	子育て家庭への相談支援事業	(参照)【子育て】子育て世代を地域全体で支援する環境整備	—	—	—	—	—	—	—	—

【 安 全 】

○地域防災力の向上

危機発生時に区の防災拠点となる区役所の体制整備を行います。また「自分たちの地域は自分たちで守る」という防災意識と団結力の形成に資する地域の取組を支援します。



No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R4実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
17	防災に関する情報発信事業	中区地域計画の「地域防災力の向上」をめざし、次のことに取り組む。 ・災害時、子どものいのちを守るために、子育て世代が備える物品、知っておいてほしい知識、家族や地域で取り組んでほしい内容、感染症の予防などを市民に周知し、防災への意識を高める。	・防災ブックを作成し、4か月児健康診査で配付。 ・防災講座を1回実施。	災害に備えた準備や行動が理解できたか。(アンケート実施)	中保健センター	子育て世代の方を対象とした防災冊子や防災ファイルの利用、パネル展示、講座等で普及啓発していく。	・保健センターで作成した子育て世帯向け防災ブックを4か月児健康診査時に 868人へ配付 ・「災害から子どものいのちを守る」をテーマに防災講座を実施。17人参加。	アンケート結果 講座をうけて、災害に備えた準備や行動ができた。100% (17人/17人中)	A	・健診会場にパネル等啓発ブース設置 ・防災ファイルを妊娠届出時に750人へ配付 ・防災講座についてコロナ感染拡大防止の観点から、人数制限をした。そのため、児童民生委員や子育て広場やサロンの運営者など子育て支援に携わっている人を対象に実施し、今後の子育て支援の場での啓発をお願いした。
							【a】	【a】		
18	中区自主防災訓練支援事業	地域住民が中心となって編成された自主防災組織において実施される訓練では、避難所運営のほか、発災後の初期消火、救急救助等に取組むほか、過去の大災害でその重要性が再認識された非常持ち出し品等の備えについての啓発にも取り組んでいることから、それらの活動を支援する。	校区防災訓練の実施 (全13校区)	防災訓練実施後、防災備蓄意識が向上したか。(校区自主防災組織等へのアンケート)	自治推進課	校区の防災訓練の実施にあわせて備蓄品を実際に確認してもらい、必要性を啓発する。	校区防災訓練実施 13校区	アンケート結果 85%	B	アンケート結果、防災訓練実施後、防災備蓄意識が向上したかの割合(115人/136人)
							【a】	【b】		
19	中区防災まちづくり事業	区民が安心して暮らすことができる安全な地域社会の実現に寄与することを目的として、自主防災組織リーダーの育成や女性の防災活動参加促進などを行う。また、地域住民自らの手で、地域特性を反映した避難所運営マニュアルや校区防災カルテを作成し、実践的な訓練を実施することで、「自分たちのまち・生命・財産は自ら守る」という地域住民の意識を高め、発災時の円滑な対応をめざす。	防災研修会を2回開催 地区防災計画を着手・策定している校区数(7校区)	研修内容が今後の防災活動の参考となったか(アンケート実施)	自治推進課	地域に対する研修においては、専門家による最新の情報に基づいた内容で実施する。並行して、避難所運営マニュアルや校区カルテ等の作成においても、専門家の支援を得て最新の情報や知見を盛り込めるよう支援する。	防災研修会 2回開催 地区防災計画 3校区策定済 4校区着手	アンケート結果 100%	A	アウトプット指標について、堺市地域防災計画に規定された地区防災計画を年度内に策定できたのは3校区(深井西・八田荘・八田荘西)である。 アンケート結果、「研修内容が今後の防災活動の参考となった」と答えた方の割合(57人/57人)
-	中区区民フェスタ事業	(参照)【交流】区民間交流の推進	-	-	-	-	-	-	-	-

○犯罪や事故のない暮らしの実現

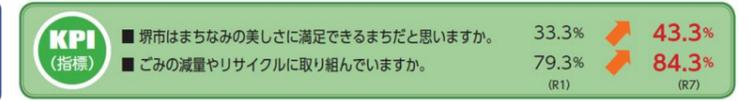
警察等との連携を密にすることにより、犯罪や事故の発生を抑止する環境の整備・充実について効果的に行います。また、地域での見守り活動を推進し、区民の防犯意識や交通安全に対する意識を高める取組を行います。

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R4実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
20	交通安全推進事業	交通事故をなくすため、中堺警察署・西堺警察署管内における自治連合協議会と区役所が協働して交通事故防止啓発活動等を行うことにより、「安全・安心のまちづくり」に資することを目的とする。 1. 交通安全大会等に参加し、特に子どもと高齢者の交通事故防止啓発活動を実施 2. 地域ボランティアと連携し、交通安全啓発活動を実施 ・小学校の登下校時に啓発活動を実施 ・春、秋の交通安全週間にあわせ駅前や交通事故多発地域で啓発活動を実施 ・地域の中で交通事故等の発生が多い場所などについて議論し、危険箇所等の改善などについて考察する。 (中堺警察署、西堺警察署合同で事業実施予定)	交通安全大会来場者数 180名	交通事故件数が減少したか。(対前年比)	自治推進課	交通安全大会に代表される交通事故啓発活動に参加する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず	中区内交通事故件数 24件減少(対前年)	A ⁻	堺市中区内の交通事故件数は、令和3年度の358件から334件に減少した。
							【c】	【a】		
21	地域安全推進事業	区民・警察等との連携・協働により広報啓発活動を行うことにより、防犯意識の高揚を図り、安全に対する自主的、積極的な取り組みを促進する。防犯灯や街頭防犯カメラの設置促進、地域の防犯環境を整備・充実させ、地域防犯力の向上を図り、犯罪発生を減少させる。	各種防犯運動(防犯キャンペーン・夜間まち歩き)の実施 計25件	刑法犯認知件数が減少したか。(対前年度比)	自治推進課	防犯灯や防犯カメラの整備体制をさらに充実させ、環境面での安心感の向上を図る。また、夜間まち歩き活動に代表される、地域・警察・行政が連携しての防犯課題の共有や防犯意識高揚につながる啓発活動に積極的に取り組む。	防犯キャンペーン 夜間まち歩き 計26件	刑法犯認知件数 30件増加	C	堺市中区内の刑法犯認知件数は、前年度の672件から702件に増加した。
							【a】	【c】		
22	中区わんわんパトロール事業	区民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現をめざして、地域住民自らがパトロールグッズを携帯して犬の散歩を行うことで、防犯意識の向上および犯罪の抑止を図る。	新規登録件数 10件	登録者の防犯意識が向上したか(登録行為をもって防犯意識の向上とする。)及び刑法犯認知件数が減少したか。(対前年度比)	自治推進課	区民フェスタでの啓発活動や区役所のパネル展示等を活用しながら登録者を増加させることにより防犯意識の向上及び犯罪の抑止を図る。	新規登録件数 3件	刑法犯認知件数 30件増加	C	前年度より登録件数自体は3件増加したが、堺市中区内の刑法犯認知件数は、前年度の672件から702件に増加した。
							【c】	【c】		
-	まちなかギャラリー事業	(参照)【環境】緑にあふれる清潔な街並みの維持	-	-	-	-	-	-	-	-
-	中区区民フェスタ事業	(参照)【交流】区民間交流の推進	-	-	-	-	-	-	-	-

【 環 境 】

○緑にあふれる清潔な街並みの維持

中区に暮らす人が、自らの街に愛着を感じられるよう、花と緑にあふれる街を創造する活動を支援し、清潔で潤いのある良好な景観を形成します。また、中区の豊かな自然環境が保有する生態系について周知を行い、その保全に向けての機運を醸成します。



No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R4実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
23	不法投棄未然防止パトロール	廃棄物の不法投棄を未然防止するため、パトロールを実施する。	週4日不法投棄パトロールを行う。	不法投棄回収重量が減少したか。(対前年度比)	自治推進課	不法投棄の多発箇所を把握し、重点的に巡回する。	パトロール実施 週4日以上	不法投棄回収重量約200kg増	C	パトロールを週4日以上実施し、回収重量が4,770kgから4,974kg(*見込み)に増加した。
							[a]	[c]		
24	中区花いっぱい魅力創造まちづくり事業	地域の多様な団体や人の連携により、美しい花を育て維持管理することで、中区の各地域に花いっぱいのうらおいと安らぎのある環境を創り出すとともに、地域の活性と交流を生み出すことをめざす。	新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じた花苗の育苗と地域への配付	本事業による地域の公共の場における花と緑にあふれる環境の増加(地域への花苗配付をもって増加とする)	企画総務課	育苗した苗を区役所周辺のみに植えるのではなく、中区自治連合協議会の協力を得て地域の公共の場に植えてもらうことで、広く中区全域に花と緑にあふれる環境を創り出す。	春の種まき・株分け 3750株 秋の種まき・株分け 1850株 (感染拡大防止のため、通常より時間を短縮して実施)	春・秋ともに19カ所に配布し、地域の公共の場所での植え付け	A	春・秋のいずれの活動についても、通常より時間を短縮して活動を行ったが、特に春の活動については体験会参加者の協力もあり、育苗が非常に好調であり、コロナ禍前の目標としていた年間5000株の配付を達成することができた。
							[a]	[a]		
25	まちなかギャラリー事業	公共施設への落書きを防止し、美しいまちなみを創ることを目的とする。また、中区生徒の作品発表の場を提供するとともに、広く区民にその作品を鑑賞いただくことにより、区民等の文化芸術に対する関心を高める。	年1回パネルを公共施設へ設置する。	・設置場所への落書き件数0件 ・市民アンケート調査で文化芸術への関心が高まったと答えた割合	企画総務課	中区内市立中学校の生徒が作成した絵画作品を加工したものを区内の公共の場へ設置する。	中区内市立中学校6校の生徒12名の絵画作品を展示	・設置場所への落書き件数0件 ・アンケート結果 100%	A	アンケートで文化芸術への関心が高まったと答えた件数が11件/11件。
							[a]	[a]		

○省エネルギー化・省資源化の推進による循環型地域社会の実現

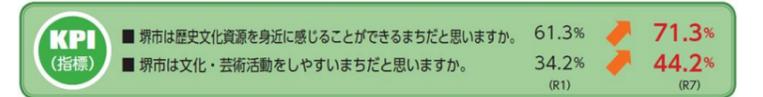
区役所の省エネルギー化・省資源化について、積極的に推進します。区民のごみの減量やリサイクルなどに関する意識の向上を図り、それぞれが自分にできることから環境にやさしい行動を自発的に選択する地域社会を実現します。

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R4実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
26	学生ボランティア活動支援事業	環境をテーマに市の事業に関連した活動を実施する学生ボランティア団体と連携し、関係機関との調整や必要な支援、助言を行う。	エコショップ登録店の増加	ごみの減量やリサイクルなどに関する啓発ができたと感じたか。(アンケート実施)	企画総務課	大阪公立大学ボランティアセンター所属の「創ラボ」が行うエコショップ啓発活動に協力し、登録店を増やす。	区内新規エコショップ登録数2店舗	ごみの減量やリサイクルなどに関する啓発ができたと感じた割合100%(4名/活動参加者4名中)	A	大阪公立大学ボランティアセンター所属の「創ラボ」、資源循環推進課と協力し、区内の店舗に登録勧奨を行い、結果的に2店舗登録店舗が増加した。また、ソフィア・堺でのイベント・雑貨村においてイベント参加者にエコショップ等について啓発活動を行った。
							[a]	[a]		

【 歴 史 文 化 】

○歴史的な魅力の再発見

中区に暮らす人たちに中区が有する歴史的資源の価値について改めて認識してもらい、また、中区の魅力を知らない区外の人からの興味・関心を新たに湧かせるような魅力発信を行うことで、他にはない貴重な過去からの遺産を次世代へ受け継いでいきます。



No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R4実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
27	中区魅力発信事業	市の伝統産業・地域資源の魅力を区内外へ広く発信し、文化芸術に触れる機会を提供する。これにより、歴史文化資源を身近に感じてもらい、もって、区民の地域への愛着を深めてもらう。	注染製品の販売会における購買者数 250人	注染製品等を良いと感じたか。(アンケート実施) 90%	企画総務課	・市の伝統産業である注染製品の販売会を中区役所で開催する。 ・区の地域資源を会場に、文化発信イベントを開催する。	注染製品の販売会における購買者数 151人	来場者のうち、注染製品等を良いと感じた人の割合 99%(アンケート結果)。	A-	今年度は新デザインの商品を販売したこともあり、販売会における満足度は、前年度の89%から10ポイント向上した。しかしながら、コロナ禍におけるマスク需要が落ち着いてきたこともあり、購買者数は前年度の218人から67人減少した。
-	中区区民フェスタ事業	(参照)【交流】区民間交流の推進	-	-	-	-	-	-	-	-

○文化・芸術活動の振興

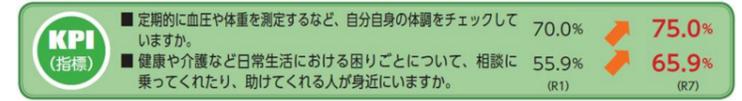
中区に暮らす人たちが身近な場で文化や芸術に触れることができ、文化活動を通して交流し、親睦を深める機会を創出することで、豊かな人間性を育み、文化に親しみ、文化を大切にする社会を構築します。

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R4実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
28	中区文化のつどい事業	文化サークルの発表の場を設けることにより、中区に居住し、または就労する人々の相互の交流と親睦を深めるとともに、地域コミュニティの活性化を図り、もってわがまちを愛する健康で心豊かなまちづくりに資することを目的として中区文化のつどいを開催する。	参加目標サークル数 ①演技:35サークル ②展示:8サークル ※R1同数	参加者の満足度が向上したか。(アンケート実施)	自治推進課	住民同士の親睦を深める場として、地域コミュニティの活性化を図るために継続して実施する。なお、地域に根差した事業である一方で、事業内容に大きな変化が無く、常態化している一面も抱えていることから、他イベントとの統合、他区事業との連携及び他事業者への継承等を検討する。	演技 27サークル 展示 6サークル	参加者アンケート 100%	A-	コロナ禍に伴うサークル活動の停滞等により、参加目標サークル数を超えることはできなかったが、これまでの中止経験を踏まえ、適切な感染対策を講じた上で予定どおり開催できたことにより、参加サークルを対象としたアンケートでは、全サークルが『満足』または『やや満足』と回答した。 参加者アンケート結果、満足・やや満足との回答の割合 33サークル/対象33サークル
29	ひるどきコンサート事業	区民に親しまれる開かれた区役所づくりをめざすとともに、区民が身近な場所で芸術にふれる機会を提供し、地域文化の振興を図る。	新型コロナウイルス感染症の感染防止に配慮したコンサートを下半期に2回実施	コンサートにより音楽(文化)に興味がいよいよ深まったか。(アンケート実施)	企画総務課	区役所が親しみやすく利用しやすい場所となるために、日ごろから区役所に訪れる機会を設定するとともに、質の高い文化芸術に触れる機会を提供する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月に1回開催	参加者アンケート 81%	B-	
-	中区豊かなこころづくり応援事業	(参照)【子育て】子どもの健やかな学び・育ちの確保	-	-	-	-	-	-	-	-
-	まちなかギャラリー事業	(参照)【環境】緑にあふれる清潔な街並みの維持	-	-	-	-	-	-	-	-
-	中区魅力発信事業	(参照)【歴史文化】歴史的な魅力の再発見	-	-	-	-	-	-	-	-
-	中区区民フェスタ事業	(参照)【交流】区民間交流の推進	-	-	-	-	-	-	-	-

【 健 康 】

○それぞれに合った健康増進習慣の確立

中区に暮らす人たちが、自身に合わせた健康増進に関する情報を、随時適切に得られ、主体的に健康の増進及び生活習慣の改善に取り組むことができるように支援します。



No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R4実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
30	食育推進事業	食育体験や講話を行うことにより、栄養バランス・野菜の摂取・減塩の大切さや実践方法などを学ぶ。正しい食生活を実践できる力を身につけることを目的とした食育体験教室や、食育SATシステムによる食事チェックを行う。	食育体験教室実施回数(年2回) 食育SATシステムによる食事チェック(年2回)	食育体験教室の参加者のうち、栄養バランスまたは適正体重や食事量または朝食の大切さを理解できたか。(アンケート実施) 食育SATシステム参加者のうち食生活の参考になったと感じたか。(アンケート実施)	中保健センター	栄養バランスのとれた食事、適正体重や食事量、朝食の大切さについて、区役所や身近な場所での情報や知識の提供を行い、ライフステージに応じて食育を推進する。	食育体験教室等は2回実施 食育SATシステムによる食育チェックを、教室・肺がん検診にて実施(2回)	アンケート実施せず。	C	食育体験教室は2回実施し、感染症対策のため時間短縮の観点からアンケートは実施しなかった。野菜の大切さや食事の目安量についてなど、調理実演や食品模型を用い、具体的な取り組み方について提案することができた。新しい取り組みとして、教室を休日に開催することで、平日、保健センターに参加できない方へも啓発することができた。中区住民で食育のボランティア活動をしている「歩み会」とともに啓発することができ、市民により身近な方から正しい食生活について伝えることができた。食育SATシステムによる食事チェックを実施することで、個人個人の課題に応じた栄養指導を行うことができた。
							【a】	【c】		
31	健康フェスタ	区民フェスタと同日開催し、健康相談、健康関連の啓発などを実施する。さまざまな年齢層が参加できるように体力測定・検診・子ども向けブースなども開設する。	・年1回実施 ・啓発できた人数	自主活動グループと共に啓発できる。	中保健センター	区民フェスタと同日開催することで、様々な年代の区民に対して、自主活動グループの協力のもと、健康に関する情報提供や啓発を行う。	区民フェスタでブースを出展し、1回実施。 啓発できた人数 877人	自主活動グループは参加できず。	C	今年度、区民フェスタの実施場所が変わったため、健康フェスタの実施方法を変更し、区民フェスタのブースで、健康に関する情報提供・啓発のブースを出展した。
							【a】	【c】		
32	がん検診受診率向上対策	中区地域計画における「健(検)診受診率向上のための体制整備」をめざし、次のことに取り組む。 ・中区はむし歯を持つ乳幼児が堺市で一番多い区である(3歳児健康診査のデータより)。2歳頃は乳臼歯(奥歯)が生え始める大事な時期であり、このタイミングに歯科保健指導を行うことで、乳幼児のむし歯を減少させる。	・日曜乳がん検診の実施回数 ・がん検診についての健康教育・情報提供の回数 ・チラシの配布部数	検診受診率が向上したか。(対前年度比)	中保健センター	・日曜乳がん検診の実施 ・あらゆる機会をとらえた検診についての情報提供・啓発	【日曜乳がん検診】 1回 38名受診 【地域の健康教育】 49回 1483名に実施 【チラシ配布部数】 100部	検診受診者数 26%増 ※集団検診(肺がん・乳がん)	A	日曜乳がん検診受診数 令和3年度29名 地域の健康教育参加者数 令和3年度19回809名 チラシ配布数 令和3年度100部 日曜乳がん検診は受付期間を延ばすことで前年度より参加者が増えた。
							【a】	【a】		
33	乳幼児のむし歯ゼロ作戦	中区地域計画における「健康増進習慣の確立」「歯と口の健康教育の推進」をめざし、次のことに取り組む。 ・中区はむし歯を持つ乳幼児が堺市で一番多い区である(3歳児健康診査のデータより)。2歳頃は乳臼歯(奥歯)が生え始める大事な時期であり、このタイミングに歯科保健指導を行うことで、乳幼児のむし歯を減少させる。	24回/年 実施	3歳児でかかりつけ歯科をもっているか。 3歳児でう蝕がある児が少ないか。	中保健センター	定期歯科検診受診率向上・う蝕罹患率低下のため、2歳児で全数に歯科健診と歯科保健指導を実施。受診から3~6か月後にフッ素塗布手帳を活用し、地域の歯科医院を受診するよう勧奨する。	歯科健診 25回実施	かかりつけ歯科を持つ者の割合 令和4年度:57.3% う蝕罹患率 令和4年度:13.2%	B	かかりつけ歯科を持つ者の割合 令和4年度:57.3%。R3年度より0.6%減少 う蝕罹患率 令和4年度13.2%。R3年度より0.8%減少 R4年度は中保健センターの密を避けるため、電話でのむし歯ゼロ作戦の受診勧奨は実施せず。
							【a】	【b】		
-	区民の主体的な健康づくり推進事業	(参照)【子育て】子どもの健やかな学び・育ちの確保	—	—	—	—	—	—	—	—

○健康を支える地域社会の構築

地域全体で健康増進を広く進めるために、区役所と保健医療機関で連携して検診や健康相談に関する取組を進めます。また、健康づくり自主活動グループや様々な団体と連携し、地域の人々の健康増進の輪を広げていきます。

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R4実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
34	自主活動グループ支援事業	中区地域計画における「健康を支える地域社会の構築」と「区民間交流の推進」をめざし、次のことに取り組む。 ・健康づくりに主体的に取り組む「健康づくり自主活動グループ」の活動支援により、区民の健康意識を高める。 ・健康づくりを自己管理できる機会を設ける。	【60%】各種講座を開催する。 【30%】自主活動グループの交流会・学習会を年1回実施する。 【10%】活動紹介のパネル展示を年1回開催する。	自主活動グループが継続できるか。 自主活動グループメンバーが増加しているか。 自主活動グループメンバーが周囲の人へ健康情報を伝えているか。	中保健センター	・生活習慣病予防、運動習慣の獲得を目的とした講座の開催 ・自主活動グループを紹介する機会の設定 ・自主活動グループメンバーから周囲の人に地域の健康情報を伝えてもらい、健康づくりの発信に協力してもらう。	・各種講座をすべて実施 ・自主活動グループ交流会1回、学習会1回 ・中区役所エントランスホールで自主活動グループの紹介パネル展示を1回実施	・既存の20グループは継続して活動できた ・継続して活動している20グループについては、メンバーの増減なし ・学習会で健康づくりの知識を習得し、家族や知人に健康に関する情報を伝える事ができた	B	太極拳セミナー、初心者のための運動教室、ウォーキング講座、健康づくり教室、オトナのためのお口の健康教室、ひらめき脳トレプラス教室など感染対策を講じ工夫しながら実施することができた。 自主活動グループの交流会・学習会いずれか1回を予定していたが、交流会、学習会ともに実施することができた。 また、自主活動グループの参加が参加者の互いの安否確認の場となっている。
							【a】	【b】		

【 交 流 】

○地域課題解決力の強化

様々な地域活動団体同士の相互扶助や広報活動を支援し、地域活動団体の有する力の発展・向上に寄与することで、地域の課題を主体的に解決できる強い地域力を育成します。



KPI
(指標)

■堺市は地域行事（まつり、清掃活動、交流イベント等）や防犯、防災に関する取組など、地域での様々な活動が活発なまちだと思いますか。

57.1% ↑ **67.1%**
(R1) (R7)

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R4実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
35	SHSなか学コミュニティ事業	中区内の高等学校(精華高等学校、大阪府立東百舌鳥高等学校、大阪商業大学堺高等学校)生徒の協力を得て、“若者の視点”で中区政府について、効果的な啓発方法や事業の検討を行うことにより、区民が住みよい地域社会の実現をめざす。	アンケートを2回以上実施	中区域内の事業に関心を持ったか(意見聴取の回収率をもって、事業関心度とする)	自治推進課	事業を通して参加学生の地域に対する関心を高め、周囲の同世代の若者たちに率先して働きかけを行ってもらえるように促す。	アンケート実施数 2回	アンケート結果 67%	C	意見聴取結果 (回答者20人/対象者30人)
							【a】	【c】		
-	区高齢者支援ネットワーク会議	(参照)【福祉】高齢者・障害者福祉の充実	—	—	—	—	—	—	—	—
-	区障害者自立支援協議会	(参照)【福祉】高齢者・障害者福祉の充実	—	—	—	—	—	—	—	—
-	中区防災まちづくり事業	(参照)【安全】地域防災力の向上	—	—	—	—	—	—	—	—
-	交通安全推進事業	(参照)【安全】犯罪や事故のない暮らしの実現	—	—	—	—	—	—	—	—
-	地域安全推進事業	(参照)【安全】犯罪や事故のない暮らしの実現	—	—	—	—	—	—	—	—
-	中区わんわんパトロール事業	(参照)【安全】犯罪や事故のない暮らしの実現	—	—	—	—	—	—	—	—

○区民間交流の推進

区民にとってより親しみやすい区役所の実現と、多様な区民や地域活動団体間の交流の促進を図ることにより、人と人、地域活動団体、そして区役所が有機的につながる地域社会を形成します。

No	事業名	事業概要	アウトプット指標	アウトカム指標	所管課	中区地域計画で設定したKPI達成のため重点的に取り組む事項	R4実績		総合評価	補足説明
							アウトプット【評価】	アウトカム【評価】		
36	中区区民フェスタ事業	中区に居住し、または就労する人々の相互交流と連帯感を高めるとともに、魅力あるまちづくりに対する意識の高揚を図り、もって地域社会の発展に寄与することを目的として中区区民フェスタを開催する。主に中区内高等学校・地域サークルによるステージ及び盆踊りや、各校区模擬店や各団体によるブース出展を実施する。	参加者数 25,000人 ※R1実績	参加者の満足度が向上したか。(アンケート実施)	自治推進課	令和4年度は開催30回目の節目であるとともに、メイン会場を原池公園に移して最初の開催であることから、例年以上に実行委員と綿密な議論を重ねるとともに、校区スタッフ等と円滑な連携を図った上で事務局運営を行う。また、企画内容については、感染リスク等の観点を踏まえるほか、来場できない住民が参加できるオンライン要素等についても検討する。	参加者数 41,000人	地域協力者アンケート 93%	A	地域協力者アンケートの結果、好意的な意見回答者の割合(26人/28人アンケート対象)
37	中区政策会議	区における施策、事業等に対し区政策会議の構成員から意見を聴取し、区民に寄り添った施策や事業の実施をめざす。	区実施の事業への意見を聴取するため、年2回区政策会議を開催する。	区の行事や活動が改善され活発になっていると感じるか。(アンケート実施)	企画総務課	区の政策に関する事項について、意見を聴取するために区政策会議を開催する。	2回 第1回令和4年5月26日 第2回令和5年2月8日	構成員アンケート 60%	C	構成員アンケートの結果、感じる、やや感じると回答した意見回答者の割合(12人/20人アンケート対象)
-	子育て支援関係者交流会	(参照)【子育て】子育て世代を地域全体で支援する環境整備	-	-	-	-	-	-	-	-
-	二十歳の集いの運営	(参照)【子育て】子どもの健やかな学び・育ちの確保	-	-	-	-	-	-	-	-
-	中区花いっぱい魅力創造まちづくり事業	(参照)【環境】緑にあふれる清潔な街並みの維持	-	-	-	-	-	-	-	-
-	中区文化のつどい事業	(参照)【歴史文化】文化・芸術活動の振興	-	-	-	-	-	-	-	-
-	ひるどきコンサート事業	(参照)【歴史文化】文化・芸術活動の振興	-	-	-	-	-	-	-	-
-	健康フェスタ	(参照)【健康】それぞれに合った健康増進習慣の確立	-	-	-	-	-	-	-	-
-	自主活動グループ支援事業	(参照)【健康】健康を支える地域社会の構築	-	-	-	-	-	-	-	-

参 考

今年度事業の連携状況一覧

事業名 関係課	1 子育て支援関係者交流会	2 中区子育て支援啓発事業	3 孤立しない子育て支援事業 (なか)よし子育てプラン	4 子育て家庭への相談支援事業	5 区役所 子育てひろば	6 現在からそして未来へ「いのち♡あり がとう」プロジェクト	7 区民の主体的な健康づくり推進事業	8 中区豊かなところづくり応援事業	9 二十歳の集いの運営	10 区高齢者支援ネットワーク会議	11 区障害者自立支援協議会	12 障害者作業所交流会	13 高齢者支援事業	14 生活困窮者に対する相談・支援 (法定受託事務)	15 障害福祉サービス支給決定 (法定受託事務)	16 精神保健福祉相談	17 防災に関する情報発信事業	18 中区自主防災訓練支援事業	19 中区防災まちづくり事業	20 交通安全推進事業	21 地域安全推進事業	22 中区わんわんパトロール事業	23 不法投棄未然防止パトロール	24 中区花いっぱい魅力創造まちづくり事 業	25 まちなかギャラリー事業	26 学生ボランティア活動支援事業	27 中区魅力発信事業	28 中区文化のつどい事業	29 ひるどきコンサート事業	30 食育推進事業	31 健康フェスタ	32 がん検診受診率向上対策	33 乳幼児のむし歯ゼロ作戦	34 自主活動グループ支援事業	35 SSHなか学コミュニティ事業	36 中区区民フェスタ事業	37 中区政策会議		
企画総務課								○	○														◎	◎	◎	◎		◎	○							○	◎		
自治推進課								◎	◎							○		◎	◎	◎	◎	◎						◎			○						◎	◎	○
市民課									○																													○	○
保険年金課									○																													○	○
生活援護課									○				◎		○																							○	○
地域福祉課									○	◎	◎	◎	◎		○																							○	○
子育て支援課	◎	◎	◎	◎	◎	○			○		○				○																							○	○
中保健センター	○	○		○		◎	◎	○	○	○	◎	◎			◎	◎	◎													◎	◎	◎	◎	◎		○	○	○	

◎…所管課 ○…連携課